

小国町立病院外来診療体制

平成28年11月1日現在

診療科	午前 午後	受付	診察	診察室	月	火	水	木	金
内科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00	一診	山形大 石井(康)14・28日 鈴木(祐)7・21日	伊藤 宏	伊藤 宏	今 孝志	伊藤 宏
				二診	盛田(麻)7・21日 阿部院長 14・28日	山形大 奥本(和)	阿部院長 2日は休診	阿部院長	今 孝志 ※検査終了後 4日は休診
	午後	14:00-15:00	14:30-15:30		伊藤 宏			今 孝志	今 孝志 4日は休診
				二診	山形大 作田(和)	山形大 奥本(和)	今 孝志	山形大 豊島(拓)10日 須貝(孝)17日	
小児科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 安孫子(雅)7日 石垣(隆)14・28日 鈴木(康)21日	山形大 石垣(隆)1日 安孫子(優) 15・29日 荻野(大)8・22日	山形大 佐藤(誠)2・16日 佐藤(裕)9・30日	山形大 鈴木(康)10日 目黒(亨)17・24日	山形大 石垣(隆)4・11日 中村(和)18・25日
	午後	13:30-14:30	13:30-15:00 (14:30まで待合室 にお越しください)						
整形外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00			山形大 丸山(真) 1・15日	山形大 赤羽(武)		山形大 本間(龍)
産婦人科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00						山形大 鈴木(百)4日 丸山(真)11日 深瀬(実)18日 中井(奈)25日
外科	午前	8:00-11:30	9:00-12:00		山形大 山岸(岳)7・21日 福元(剛)14・28日				
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30			櫻井 文明	櫻井 文明	櫻井 文明	
眼科	午前	8:00-12:30	10:00-13:00						
	午後	13:30-15:00	14:00-15:30 (15:00まで待合室 にお越しください)			山形大 今野(伸)			
耳鼻 いんこう科	午後	12:30-16:30 (月曜は16:00で 受付終了)	13:30-17:00 (月曜は16:00まで お越しください)		山形大 渡邊(千)		山形大 杉山(元)2・30日 金子(昌)9日 中島(小)16日		山形大 中島(小)4・25日 杉山(元)11日 18日は休診

診療科	午前 午後	受付	診察	月	火	水	木	金	土	日祝
歯科 (予約制) ☎62-2513	午前	10:00-12:30	10:00-13:00	休診	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	飯田 俊也	休診
	午後	14:00-18:00	14:00-18:30		新潟大 濃野(要) 1・15・29日	新潟大 長谷部(大)2日 金丸(祥)9・30日 須田(大)16日	新潟大 長谷部(大)10・24日 片桐(渉)17日			

予防歯科や口腔外科の先生もおりますので、お口の中のこと全般にご相談ください

※外来診療体制は変更になる場合がありますので、電話で問い合わせてください。

診療日変更等のお知らせ

内科	阿部院長	11月2日(水) 休診
	今医師	11月4日(金) 休診 →午後のみ代診あり

小児科	11月4・25日(金) 午後休診 (町の乳幼児健診のため)
耳鼻いんこう科	11月18日(金) 休診



小国町立病院

http://www.ogunibyoin.jp/

小国町立病院

検索

〒999-1356 西置賜郡小国町大字あけぼの一丁目1番地

☎.0238(61)1111 FAX.0238(61)1115

歯科直通 0238(62)2513



小国町立病院

通信

平成28年11月1日発行

第37号

発行：小国町立病院情報管理委員会

私たちは 地域の方々とともに歩み 医療を通して 安心のある地域づくりに貢献します

平成28年度 インフルエンザ予防接種

10月31日(月)から、インフルエンザの予防接種を開始しています。

対象	接種回数	予約の有・無	診察室	料金(1回)	助成等
1~13歳未満 (小学6年生まで)	2回	予約制 ☎ 61-1111	※1 小児科	3,000円	町から1回につき2,000円の補助あり (対象者には個別通知) ※補助を受ける場合、 予診票に押印必要
中学生	1回	随時実施 (予約不要)	※2 内科 または 外科※3	4,000円	町から1,500円の補助あり (対象者には個別通知)
高校生~65歳未満					
65歳以上					

※1. 中学生以下のかたは、実施当日、再来受付機で予約受付をしてください。

※2. 高校生以上のかたは、希望日の当日(内科の受付時間)に、通常の診察受付と同じ手順で、再来受付機で内科診察の受付後、総合受付のスタッフに「インフルエンザ予防接種希望」と声を掛けてください。受付順に接種を行います。

※3. 高校生以上のかたで、インフルエンザ予防接種のみを希望されるかたは、**火・水・木曜日の午後の外科外来**で優先的に接種できます。(受付時間は13:30-15:00です。)

医局から

10月より常勤医として勤務している、**外科の櫻井医師と今医師を紹介します。**

外科(常勤医)
櫻井 文明 先生



メッセージ:

皆さんこんにちは。10月より赴任となりました櫻井文明と申します。平成21年に田中先生が退職されて以来の外科勤務となります。遅ればせながら、小国町の外科診療のお役にたてるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

内科(常勤医)
今 孝志 先生



メッセージ:

10月より赴任しました今孝志と申します。専門は消化器内科です。小国町出身ですので、地元のために精一杯診療させていただきたいと思っております。ご迷惑をかけることがあると思いますが、よろしくお願いいたします。

月曜日の内科外来を担当している作田和裕さくた かずひろ医師から『機能性消化管障害』に関するお話しです。

「機能性消化管障害」について

ストレスでおなかが痛くなったことや下痢をしたことはありませんか？きっと誰しも一度は経験があると思います。古来より日本では「腹が立つ」「腹をさぐる」など、おなかと感情を結び付けて考える文化があります。実際にストレスが腹痛や下痢などの症状を引き起こし、また逆に腹部症状が心理状態にも影響を与えます。胃や腸には神経が発達しており、「第二の脳」と言われるほどです。



月曜日の内科外来担当
作田 和裕 医師

その神経やホルモンのバランスが崩れてしまうと、慢性的に腹部症状を感じるようになり、その状態を「**機能性消化管障害**」と言います。大きく分けると、胃もたれやみぞおちの痛みなど上腹部の症状が主体の「**機能性ディスペプシア**」と、下腹部のはりや下痢・便秘といった便通異常など、下腹部の症状が主体の「**過敏性腸症候群**」の2つがあります。

機能性ディスペプシアの症状

食事によるもの(週に3~4回以上)

もたれ感



食べ物がいままで胃の中にとどまっているような不快感があり、普通の量の食事を摂った後がつらいと感じる

早期飽満感



食事を開始してすぐに、食べ物で胃がいっぱいになり、それ以上食べられなくなる感じ(普通の量の食事が食べられない感じ)

食道の症状(胃酸が食道に逆流しておこるゲップ、胸やけなど)と重なることがあります。

食事と関係ないもの(週に1回以上)

みぞおちの痛み



みぞおちに起こる非常につらい不快な痛み

みぞおちの灼熱感



みぞおちに起こる熱をもったような不快な症状

症状は一定でなく、時とともに移り変わることがあります。

胃痛
胃もたれ

これらはどれも、内視鏡や CT などの検査では異常が見られず、「気のせいだ」とか「病気ではない」と言われることもあります。現在は、一つの疾患として確立されてきています。病態はいまだ不明な点も多く、特効薬がないのが現状ですが、**多くは定期的な診察や内服治療で症状をコントロールすることができます。**普段から腹部症状があって、「自分はおなかが弱い」とお悩みのかたがいらっしゃれば、外来でご相談ください。

シリーズ

～地域医療連携の今とこれから～

【第2回】 おぐに訪問看護ステーション

私たちの住む地域ではどのように医療、介護、福祉の連携が図られているのか、様々な視点から「地域医療連携の今とこれから」をシリーズで紹介します。

おぐに訪問看護ステーションは、町立病院の中に事務所を置き、約 140 人のかたの自宅を訪問して、治療の継続や療養上のお世話、また介護についての相談等を行っています。看護師は勿論ですが、介護支援専門員を配置していますので、医療的な相談の他に、介護保険を利用する上での相談にも同時に対応できるところが在宅で介護している方々の安心につながっていると思われれます。



医療・介護の両面から 24 時間患者さんをサポート



介護サービスの利用にあたっては病院外の介護スタッフとも連携し対応にあたる

入院された患者さんが退院される時、多くの方は不安を抱えられるのではないのでしょうか。そのような不安を解消するため、訪問看護ステーションでは、ご本人やご家族の了解のもと、必要なかたには入院中から関わりを持ち、主治医の先生や病棟看護師から状況を聞き取りしたり、リハビリの先生や担当ケアマネジャー等関係者の集まる会議で情報を共有したり、自宅でも安心して継続性のある適切な医療が提供できるように配慮しています。また、介護保険サービスを利用している場合は、さいわい荘や温身の郷、満天の家、社会福祉協議会ヘルパー等、関係事業所と連絡を取り合い、関わる人たちとチームを組み、一丸となって大切に支えていきたいと考えています。



患者さんがスムーズに在宅へ戻れるよう週1回の院内打ち合わせで情報共有も

これからも、関係者の方々と連携をとり、住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援させて頂きたいと思ひます。